



LD親の会「けやき」機関紙

第95号

2011年6月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
<http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>

7月例会のご案内

お父さんの勉強会

けやきの活動を通して — 今「親の会」でできることを考えよう —

日 時 7月23日(土)・14:00～16:30 (受付開始13:30)

場 所 武蔵野芸能劇場 小ホール

JR中央線・三鷹駅北口すぐ(徒歩1分)

武蔵野市中町1-15-10

「けやき」を合言葉に集まった仲間同士ですが、これまで「どうして親の会が必要なのか」、「どんな活動をして、何ができるのか」ということを振り返って見る機会が少なかったように思います。「自分の子どものことだけを考える」・・・それだけでいいのでしょうか？

例会では、話題提供として、「けやきの活動概要」をパワーポイントにて説明します。さらにお二人のお父さん方から、体験談を話していただく予定です。

今回は「おやじの会」の皆さんが中心となってすすめる勉強会ですが、
♥もちろんお母さん方も奮ってご参加ください。(ご夫婦一緒はさらに大歓迎)
会員の皆様のご参加をお願いします。

○会員以外の方は、お名前・お立場・連絡先を明記の上、keyaki@box.club.ne.jpへ
7月16日までにお申込みください。

○資料代(1000円)を当日申し受けます。(けやき会員は無料)

○保育はありません。

*役員会は10:20～12:00で行ないます。



特定非営利活動法人

全国LD親の会・第4回総会が開催されました

6月18日(土)、ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年総合センター)に於いて開催された、「全国LD親の会」総会について報告します。

第1号議案~第6号議案および理事会決議事項について、すべて賛成多数により決議されました。

第3号議案「地域ブロック体制の変更」では、これまで全国を7ブロックに分けていたものを、参加団体数の格差是正や地域の実情を考慮し、中部と北陸ブロックを統合して6ブロックに変更されました。けやきの所属する関東ブロックはこれまで通りの12団体の参加です。今年度の関東ブロックからの評議員は、丹藤登紀子さん(神奈川「にじの会」・再任・副理事長)と木村仁美さん(埼玉「麦」・新任)のお二人です。

また、第6号議案として「東日本大震災により被災した会員団体への活動援助」が盛り込まれ、被災した正会員団体が活動を再開する際、助言や援助の活動を行うことになりました。それに先立って、東北ブロック担当の理事より被災地の様子を伝えていただきました。宮城県の会に1名の不明者があるとのことですが、正会員団体の活動に大きな支障は出ていないとの報告でした。

さらに、理事会決議事項の「運営規則の一部改訂」では、監事より提出された意見書(2010・10・30付)を検討した結果として、会員の義務、理事の職務、評議員の職務などをより具体的に明確化して表記しており、それぞれの役割や意見集約、情報伝達などが今まで以上に確実となることが期待されます。

「議案書」は役員会や交流会に持参していますので、回覧希望の方は三輪までお知らせください。

研修会参加報告

LD等の発達障害の子どもへの学習支援にむけて 一親の会と専門家との連携―

全国LD親の会総会に引き続き、同会場にて行われた研修会は、発達障害児のためのサポートツール・データベース事業で、全国キャラバンとして全国数ヶ所で開催している研修会(講演とワークショップ)に関わってくださっている山田先生、嶋谷先生にご登壇頂きました。キャラバンでは全日を使っての研修会を、ここでは3時間に凝縮して(短縮ではありません)お話頂いたので、濃すぎるほどの内容でした。事業についての詳しい内容は、全国LD親の会のホームページをぜひ覗いてほしいと思います。事例ごとに、問題点とそれへの対処とサポートツールの説明を具体的に示して頂きましたので、とてもよく理解できました。

「できない」のは、本質でつまづいているのか・二次障害でつまづいているのかを見極めることの大切さと、いかなる「行動」にも意味と理由があることを念頭において接することを忘れないようにしたいと思います。

S. M

第10回 全国LD親の会公開フォーラムに参加して

講演者の竹田契一氏（大阪教育大学名誉教授）と品川裕香氏（教育ジャーナリスト）から、大変印象深い話を伺うことができました。二人の講演者に共通するテーマは、「発達障害のある人が自立した個人として、社会参加していくために本来必要な支援とは何か」ということでした。

竹田氏は、ある少年院での実例を取り上げていました。その少年院では、読み書き等学習に遅れの目立つ子が多く、ほとんどがLDではないかと判断されたのですが、よくよく調査してみるとLDは数パーセントにすぎなかったというのです。彼らの学習の遅れは、小中学校において学習した事を誤って認知していた（誤学習）、学習が充分ではなく中途半端に習得していた（不足学習）、本来学ぶべき事が習得されていなかった（未学習）、の3つが要因としてあったというのです。彼らを反社会的な行為へと走らせてしまったのは、この3つの負の学習によるところが根本にあったと明確に述べていました。発達の障害が有る無しに関わらず、子どもの頃の“学び”が人の一生を左右しかねない重要なものであることは疑いがありません。特に発達に障害のある子どもへの影響は、さらに大きなものになってしまうことは十分考えられます。そこで、アメリカの実践例を通して、今後の日本での支援教育において、大切にしたい具体的な取り組みへの提言がありました。「①自分の課題に気付く」「②学び直しができる」「③達成感が得られる」「④体験的・総合的に様々な学ぶことができる」「⑤特別支援教育の視点でのサポートが受けられる」、この取り組みの上に就学から就労までを見据えて、支援できる体制を作ることが急務であると述べていました。

品川氏は、ご自分の赤裸々な体験談を交えながら、発達に障害のある子が、自立し社会参加していくための必要な力と学ぶべき事とは何かということ語ってくれました。「①何ができて何ができないか、何が得意で何が苦手か、障害名を知っていることではなく、バランスよく自分を見つめることのできる自己理解力」「②自己理解を踏まえた上での、メタ認知力と自分で判断することのできる自己決定力」「③苦手な面に向き合った時など、避けるのではなくどう乗り越えたらよいかを工夫するセルフコントロール力」「④社会のルールとマナー」、この4つのことを学べる教育的環境が整備され、その上で、リスクマネージャー（障害を分かってくれる人）が、指導者の立場で関わるのが大切だと説いていました。

今回の二人の講演から、発達に障害を持つ子に対して、幼児期から就労まで寄り添いながら、自立と社会参加をしっかりと踏まえた上での、家庭・学校・地域が一体で取り組む支援のあり方とその質が、今まさに問われているという、大変重たい提言を受け取ったように感じました。発達障害者の自立と支援に関する法律の整備など、今後しっかりと煮詰めていくべき課題が山積しているという側面もありますが、支援教育の理想が何処にあるのかまだまだ議論の余地があって、多くの人の知恵と努力が必要とされているような気がしました。

K. M

5月・例会報告

5月28日（土） 14:00～16:30

東京都多摩社会教育会館・201研修室

雨にもかかわらず、多くの方にご参加いただいて「会員交流」を行いました。ひとり自己紹介をした後、中学校をどのように選んだらいいかをテーマにして話し合いました。

「公立の特別支援学級は子どもに合っているところを選ぶのが大事」、「通常学級に在籍し通級を利用したのは子供の自己認知のためによかった」、「面倒見のいい小規模の私立で先生の理解のある姿勢ありがたい」、「自由な校風の私立中高一貫校で幸せに過ごせた」とさまざまなご意見や体験談が交わされました。

私自身は子どもの進路に直面したときに、いったい何を選んだらいいのか悩みに悩んで、いくつかの選択肢の先の近未来へタイムマシンで行って、大きくなった息子の姿を見てから選べればいいのに、と真剣に思ったことなど思い出しながら皆さんのお話を聞きました。

Y. S

東京LD親の会連絡会報告

平成23年度の東京LD親の会連絡会総会が、5月29日（日）に下北沢「らぶらす」で開催されました。

◎平成22年度・活動報告等

1. 活動報告
2. 会計報告
3. 会計監査報告

ともに拍手で承認されました。



◎平成23年度・活動計画等

1. 東京都への要望書提出については
 - ・ 要望書の項目を整理し、縮小して提出することになりました。
2. 就労支援センター訪問調査報告書の販売については
 - ・ 全国LD学会・職リハ学会等でチラシを置かしてもらおう。
3. サポートチェック表の販売については
 - ・ 残っているものを売り、改訂版を準備する。

以上、拍手で承認されました。

N. O

■自主グループ紹介■

ポーレポーレ

今年度もメンバーがボランティアの方々と月1回、主に第2日曜日に活動しています。

ポーレポーレは、今期から12年目に入り、メンバー全員が20代になりました。ここ数年は、調理・野球観戦・夏の遠出（宿泊他）・ボーリングとカラオケ等を基本に、メンバーの希望を取り入れながら話し合いで活動内容を決めています。

最初は2回だった活動日も、メンバーの成長とともに無理なく参加できるよう月1回になりました。参加したい（できる）時に参加するという方針でやっていますので、メンバーそれぞれに参加のペースができています。本人たちを取り巻く状況が変化しても、ホッとできる居場所としてのポーレポーレが変わらずに在る。そういう状態がこれからも続いて欲しいと願っています。

今年の夏は、久しぶりに親も一緒にバーベキューをします。新しく加入希望の方は、親子でバーベキューに参加してみませんか。是非一度ポーレポーレを見に来てください。真夏の太陽の下、みんなでワイワイやりましょう！

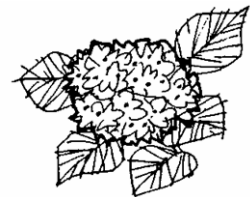
今後の活動予定

- 7月10日（日） ナムコナンジャタウン（池袋）
- 8月14日（日） 昭和記念公園でバーベキュー（立川）・午後1：00～
- 9月11日（日） 散歩

T. A

おやじの会

例会後の懇親会の企画を中心に活動をしています。
いつでも、会員募集中です。！！
ひとりでも多くのお父さんが参加していただける活動を目指しています。
お母さんも大歓迎です。



藤本

■自主グループ紹介■

キャリア教育講座 Wing

Wingは、親自身が地域の専門家の力を借りつつ、自らの努力をもって、キャリア教育講座を立ち上げ、企画・運営している会です。

〇3年間の取り組みをまとめた実践報告書を発行しました！！

Wingの会員・大学・研究者・就労機関・企業の連携によって運営されたキャリア教育に関する実践報告書です。

キャリア教育の必要性、取り組んだ会員の声、運営の仕方などこれから取り組みたいと思っている方々、教育、福祉関係の方々に役立つ情報が満載です。また、写真も入り読みやすくしました。印刷、デザインは特例子会社である(株)キョーピーあいにお願ひし、素敵なお夢のある表紙、ロゴなど作成して頂き、ここでも連携の素晴らしさを実感することが出来ました。ぜひ、皆で作った報告書をお手にとってご覧ください。

【内容】

1. 「Wing」誕生の背景
 - ・キャリア教育への親のニーズ
 - ・キャリア教育に取り組む親の思い
 - ・親がキャリア教育に取り組む意義
2. 「Wing」の内容の企画手続き
 - ・「プログラム委員会」で内容を考える
 - ・内容理解を深める教材に改良する
 - ・客観的評価でプログラムを改良する
3. 「Wing」の運営・実践手続き
 - ・親たちが「役割分担」する
 - ・地域の専門家に講師を依頼する
 - ・ボランティアに支援・指導を依頼する
4. 受講生に対するキャリア教育の効果
 - ・プログラム＊講座時の感想発表の変化
 - ・事前・事後質問紙の変化

総 評
資 料

内容：指導案／講座資料／議事録

運営・実践方法：／受講生募集・ボランティア募集／係分担／運営手順
／講師依頼手順

感想：最近の出来事／講座への感想／修了式の感想



■自主グループ紹介・Wing■

今年度のWingは、3月から4回の親講座、
7月から6回の親子講座を行なう予定です。



1) 親講座の実施

6月19日(日)の親講座は、(株)いなげやウイングの石川 誠 氏を迎えて職場研修で行われるビジネスゲームによる、チームワークの体験や採用から就労定着までのお話をして頂き、とても心に残る勉強をさせていただきました。その後、松為先生からまとめのお話し、全回参加された方に先生から修了証が手渡されました。
(親講座参加者34人)

第1回 3月27日(日) 『オリエンテーション』

講師：松為 信雄 氏〈神奈川県立保健福祉大学教授〉

第2回 4月17日(日) 『制度・就労の仕組み』

講師：市村たづ子 氏〈就労移行支援事業所〉

第3回 『就労事例・プロセス・判断基準』

講師：ポーバル聡美 氏〈就労支援センター・コーディネーター〉

第4回 6月19日(日) 『大切なスキル』『まとめ』『修了証授与』

講師：松為 信雄 氏〈神奈川県立保健福祉大学教授〉

石川 誠 氏〈(株)いなげやウイング〉

今後の予定

2) 親子講座の実施

対象者 中学3年生～高校3年生の親子・親・ボランティア

参加費(6回) 親だけ・6000円 親子 12000円

第1回 7月17日(日) 『オリエンテーション』

第2回 8月18日(木) 『職業適性検査』『企業見学』『食事会』

第3回 9月 4日(日) 先輩の話・企業が求める人材・スキル

以後の日程

10月16日(日)、11月6日(日)、12月11日(日)

新堀(和)

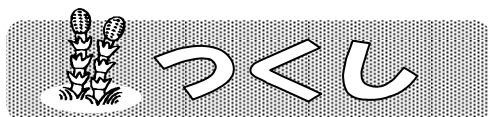
今年度は全回、南大沢文化会館で行います。新受講者(親子)を若干募集します。
ボランティアも募集中です!!

見学ご希望の方は、前もってご連絡ください。

問合せ先 メール caco.n@utopia.ocn.ne.jp

電話 042-637-1451 (新堀)

■自主グループ紹介■



つくしの活動

つくしは、話し合うことで子どもの困り感に気づき、親が向き合いつつ具体的な手立てを探るための親の集まりの会です。

今年も、5月28日（土）に集まりを持ちました。

子どもを通して感じた話題から、子どもの困っている姿や親の戸惑いを共感し、親睦の輪が広がりました。

- ・学習の積み上げが難しく、だんだん自信を失くしていく子を見守る、親としての気持ちの切なさ。
- ・先生方はとても忙しく、子どもへのほんの少しの支援を望む親子の気持ちを伝えることの難しさ。
- ・子どもの困り感を分かっているけれど、父と母との関わり方の違いの難しさ。
- ・学校へ行くのを嫌がる子にどう関わり、また学校へどう伝えればよいのか。
- ・子どもは、自分が必要とされていると思える気持ち（自己肯定感）が上がれば、その子なりの力が高まる。
- ・学校に信頼を持てるようになったことで、子と距離を持てるようになった。等

今年も2カ月に一度、話し合いを中心とした集まりを持ち、家庭や学校での子どもの様子について話合うなかで、知りたい・学びたい具体的な内容が出た場合は、講師をお呼びすることにしました。

次回活動日時

日時：7月16日（土） 10:00～12:00

場所：国分寺労政会館和室2 交流会



瀧澤



仲間作りと自主グループの立ち上げを応援します

子どもが成長していく過程に合わせて、学齢期の「教育」と学校卒業以降～生涯にわたっての「就労・自立」は私たち親が取り組む大きなテーマです。

けやきでも教育部会と就労部会として二つの部会（チーム）を作り、活動をしてきました。部会には、それぞれに希望する会員が自由に入部できることとし、代表（副会長を兼ねる）を中心に年間計画を立てて運営し、時には部会が主となって例会を開催するなど、けやき会員全体に向けた活動にも取り組みました。

しかしここ数年はけやき本体の会員の減少もあり、部員の減少と常に同じメンバーのみの参加という状態が続いておりました。学齢期のお子さんがいるという教育部会に該当する親御さんの参加率が伸びません。就労部会でも、就労前のお子さんをもつ方とすでに就労されているお子さんの親御さんでは、知りたいことの緊急性が異なっていたように感じます。「教育」「就労」という大きな枠は、とても重要ですが大きすぎた（抽象的）と思います。さらに一部の会員にのみ負担がかかるような様子も見受けられました。

そこで今年度、「教育・就労の両部会の活動を廃止」いたします。すでに昨年度より、教育部会の皆さんは「自主グループつくし」の皆さんと一緒に勉強会や懇談などの活動に取り組んでいて、参加される方が必要とする具体的な内容ですすすめています。

就労部会の皆さんも廃止の提案を受けて、昨年度末から年度はじめに相談を重ねて頂き、あらたなグループとしてではなく、自由参加の交流（食事会など）を2ヶ月に1回程度予定して、これまでの仲間での集まりを続けたいとの報告を頂いています。

今年度のけやきは仲間作りと自主グループの立ち上げを応援したいと思っています。5月現在の正会員数は36家庭です。学校でならクラス一つ分と同じような数です。クラスメートとして全員が顔なじみ・顔見知りになっていても当然なのですね。月1回の活動日（8・9・12・1月）の午後を「交流会」として、話をするために集まる機会にしたいと思い、総会でも提案させて頂きました。話をする中から、同じ活動をしたい人・一緒に行動できる人・新たな情報や考え方が出てくるように思います。そこから「自主グループ」が立ち上がっていく後押しをいたします。

現在活動中のポーレポーレ・キャリア教育講座 Wing・つくし・おやじの会のそれぞれの自主グループも、すべて「こんな活動がしたい」という具体的なニーズから生まれ、続いているものです。交流会や機関紙・ホームページのブログなどで活動内容を報告・紹介して頂いていますので、ぜひご覧ください。またもっと詳しく知りたい・見学したいなどの希望の方は、各グループの代表へ連絡を入れてから、相談するようにしてください。よろしくお願いいたします。

三輪 覚子

散歩道

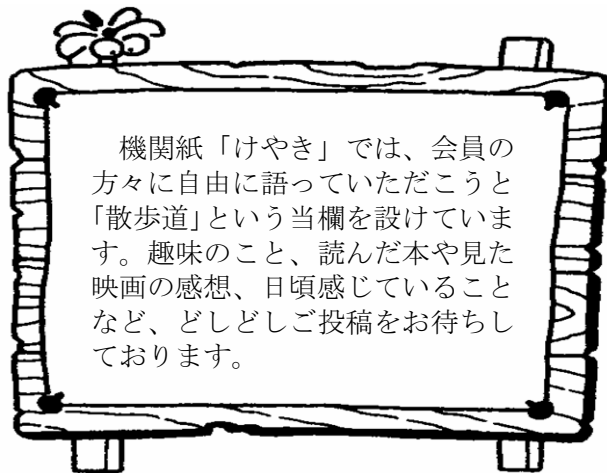


1年ほど前から、市内のNPOが運営・管理する畑のお手伝いをしています。まだまだ新米でお手伝いなどと呼べるレベルではないのですが、優しくて大らかな方々に囲まれて、楽しくやらせてもらっています。自然の中での作業ですので、ちょうど良い気象状況というのはあまりありません。暑い・寒いに加え強風や雨等、農業を生業にされている方々のご苦勞が身にしみます。大変ですが、でもやっぱりいそいそと畑に通ってしまうのです。

今は、子どものことや家族のこと等、自分以外のことで悩み考え、世話しなく日々が過ぎていきます。最近はその進路のことで、夜眠れないこともあります。子どもの希望と親の願い、将来の展望や理想に対して、学費や子どもの学力、障害の特性等の現実、それらが頭の中でぐるぐるとうずを巻いているような状況です。そんな時畑に行って作物や土・草に触れていると、気持ちが落ち着いてきます。特に草取りは最高です。本当に無心になれます。

現実逃避したいだけなのかと考えることもありますが、いっとき現実から離れて自由になるのも悪くないと思います。病気やケガで強い痛みが続くと、前に進む気力もなくなることがあります。少しの間だけでも精神的に楽になれば、また違った見方・考え方ができる心の余裕が生まれるかもしれません。そんな気持ちで時間の許す限り畑に通っています。

Y. A



機関紙「けやき」では、会員の方々に自由に語っていただこうと「散歩道」という当欄を設けています。趣味のこと、読んだ本や見た映画の感想、日頃感じていることなど、どしどしご投稿をお待ちしております。

お知らせコーナー

【冊子紹介】

『教育から就業への移行実態調査報告書・Ⅲ』

(全国 LD 親の会・会員調査)

☆全国の会員の協力を得てアンケート調査を行なった結果の報告書が発行されました。過去2回の同様の調査結果との比較も掲載されています。

(会員：600円 一般：1000円)

※2009年11月～2010年1月にかけてのアンケート調査に協力してくださった会員の皆様には、全国LD親の会より報告書が贈呈されます。

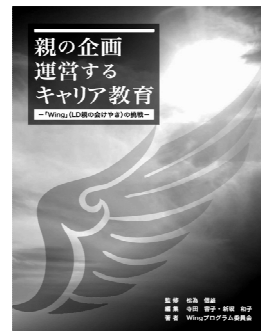
アンケートに協力した方(お子さんが当時18歳以上)は、三輪までお知らせください。

『親の企画運営するキャリア教育』

～「Wing」(親の会けやき)の挑戦～

☆自主グループキャリア教育講座「Wing」の3年間の活動の成果のまとめが発行されました。講座内容の企画や運営方法などノウハウ満載の充実の一冊です。

(2500円)



詳しくは、本紙6ページの「Wingの活動報告」をご参照ください。

☆けやき宛に次の本が届いています

会に寄贈された本の紹介です。内容などの判断は各自にお任せします。希望者には貸し出ししますので、三輪までお知らせください。

◎月刊フォアミセス7月号

本会ボランティア会員のさいきまこさんの「魔法なんかじゃない」が掲載されています。

◎「発達障害 母たちの奮闘記」 山下成司さん

8月活動日のお知らせ

日時 8月27日(土)

10:00~12:00 役員会

13:00~16:30 交流会

場所 東京都多摩社会教育会館 303研修室



「けやき」では年間を通して新規入会を受付けています

*入会金 2000円

*年会費 5500円

活動日の会場に直接お出かけください。

詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>にてご案内していますのでご覧ください。

*賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。



編集後記

大阪城の猫たち

先日、全国LD親の会の総会と公開フォーラムに参加してきました。1日目は、開始まで間があったので、午前中に大阪城の周囲を家内と散策をしました。昭和の時代に再建されたといわれる立派な天守閣を背景に記念写真を撮っていたら、何処からともなく1匹の猫が現れたのです。もう何年も前から住みついているような、城の主ではないかと思えるような猫でした。ところが、堀に架かる橋を渡り天守閣方面に近付くにつれて、次から次と猫たちが出没するではありませんか。天守閣のほぼ真下あたりにいた猫は、時折小雨の降る天気にも関わらず、しっかり熟睡しきっていたのでしょう、大声で呼びかけても丸くなって全く目を覚まさないという豪傑でした。出会ったそれぞれの猫たちをよく見ると、耳の先端が切れていました。家内に聞くと去勢手術をした証の「地域猫」とのこと。初めて知りましたが、城の周囲をそれこそ根城にする猫とは、本当に恐れ入りました。親子や兄弟の関係も多いのかもしれませんが、長生きしていつまでも城を守っていて欲しいものだと思います。

K. M

